

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		平成23年7月25日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府乙訓郡大山崎町小泉1番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日立マクセルエナジー（株） 代表取締役取締役社長・岡藤 雅夫
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001	
適 用 範 囲	日立マクセルエナジー（株）本社ほか4箇所	
導 入 年 月 日	1997/12/24	
認 証 番 号	EC97J1148	
基 本 方 針	基本理念：「環境との調和」を経営の最優先課題の一つとして行動します。 基本方針：「恵み豊かな地球を次世代へ」のスローガンを掲げ、（1）環境管理システムと環境活動の継続的改善を図ります。（2）環境汚染の予防に努め、環境改善に取り組みます。（3）重点項目として次の継続的改善活動を推進します。 ①環境マインド&グローバル環境経営など4つの事項。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	エネルギー起源のCO2排出量を削減する・・・1990年度比40%以上削減 廃棄物等の排出量を削減する・・・2000年度比53%以上削減	
目標を達成するための取組の内容	CO2排出量の削減・・・ 塗料設備の処理量アップ、ラインタクトアップ、冷水・冷却水設備の省エネ化、コンプレッサー効率化。 廃棄物等の排出量削減・・・ 不良品等の削減	
目標を達成するための取組の進捗状況	CO2排出量の削減・・・ 塗料設備の処理量アップ、ラインタクトアップ、冷水・冷却水設備の省エネ化、コンプレッサー効率化を実施済み 廃棄物等の排出量削減・・・ 不良品等の削減を実施中	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画どおりに取り組むことができています。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	遵守状況は1カ月に1回確認を行っており、これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年に1回マネジメントレビューを実施している。 平成21年度の目的・目標は達成し、成果が見られたことから、平成22年度も同一のシステムにより運用した。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。